

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	－	－
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・天候が暖くなれば、飲料関係が動き出してやや良くなる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・この先もインバウンドの影響は余らないとみている。引き続き好調を維持できると考えている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・受注があり、受注残も増加している。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・2月、3月は決算に至る繁忙期なので、売上はやや増えるとみている。今後は、経済的、政治的にも安定期に入るとみているため、期待できる。
	○	住関連専門店（店長）	・衆議院選挙で、食料品の消費税にかかる公約が、現実となれば、消費は間違いなく上がる。ホームセンターでも食品を販売しているため、恩恵は受ける。食品以外の商材も上向くとみている。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・寒波と衆議院選挙が過ぎれば、人流は増えて消費や交流も増える。それに向けた取組も行う予定である。
	○	一般レストラン（経営者）	・景気対策と天候が暖かくなって人が動き始めることを期待している。
	○	一般レストラン（経営者）	・例年、春になれば観光客も増えるため、やや良くなる。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊需要は変わらず堅調である。当館はビジネス客中心ではあるが、インバウンドの引き合いも多くなっている。12月以降、宴会件数は増えており、新型コロナウイルス感染症発生前の兆しが見えるようになってきている。
	○	旅行代理店（所長）	・とにかく衆議院選挙の結果次第である。今のところ、大きな変革は起きそうにないため、安定化に向かうと考えられる。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなっているため、この先も良くなるとみている。
	○	通信会社（総務担当）	・現状に加え、新入学特需も想定される。
	○	設計事務所（所長）	・例年、春は消費行動が増えるため、やや良くなる。
	□	商店街（代表者）	・児童数の減少で、卒園や入園、入学式等の記念写真の需要は落ち込むと予想される。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・衆議院選挙が終わって、新内閣が発足し、食料品の消費税にかかる公約が実行されれば、多少は良くなる。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・メディアで報道されているような中国からのインバウンド減少に伴う影響はほとんどなく、むしろ前年よりも売上の良い状況が継続している。台湾、タイ、欧州各国、米国、メキシコ、オーストラリア等、数多くの国からのインバウンドが来訪している。コロナ禍明け以降、この傾向は続いているため、今後も継続すると考えている。中国人観光客が減った分、東南アジア諸国からの観光客が増えており、日本人観光客の動きも堅調で、全体的に良い条件がそろっている。
	□	百貨店（営業担当）	・引き続き、物価高で、消耗品や生活必需品が消費の中心である。年度末を迎え、新生活関連商材の需要期に入るが、慎重な消費行動は変わらず、消費拡大には至らない。
	□	百貨店（営業担当）	・担当の売場では大幅な値上げ等はなく落ち着いている。現状、購買状況に大きな変化はなく、客は友の会の積立やアプリの割引クーポン等の特典を組み合わせる堅実に利用している。春に向けたオケージョンニーズも今後本格化するため、需要は一定程度見込まれる。プラスで購買してもらえるような策を考えていく。
	□	百貨店（店長）	・物価高や将来不安等もあり、なかなか積極的に消費する環境にはならない。衆議院選挙後の消費税の減税次第で、一時的に回復する可能性もあるが、楽観はできない。
	□	スーパー（総務担当）	・今回の衆議院選挙の結果も影響してくるため、先行きは分からない。
	□	スーパー（経営企画）	・身の回りの景気変動する要因はない。
	□	コンビニ（経営者）	・客の購買意欲をみても、変わらない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・特別、良くなる、悪くなるような要因が見当たらない。

<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・需要を期待できる材料が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・来月のミラノ・コルティナオリンピックの盛り上がりを期待し、販売促進を強化しているものの、映像関連が厳しい状況である。季節商材のチャンスを逃さないよう注視していきたい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・季節家電等の一時的な需要の高まりはあるものの、物価上昇に伴い消費者の節約志向は一層高まっており、総じて来客数の減少や販売量の伸び悩みが懸念される。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（仕入担当）	・衆議院選挙の予測は困難だが、選挙結果が景気の上昇につながるとは考えにくい。物価高と可処分所得の関係が改善されるには時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店（総務担当）	・見積依頼数が変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年度替わり等で宴会の機会は増えるが、現状維持と予想している。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・主力の給食部門では、食材費の一部で2月から引上げが予定されている等、今後も収支面の厳しい状況が続く見込みである。自助努力を続けることと併行して、新年度からの取引条件の再見直しを了解してもらえるかどうかで、今後の収支は変わる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・衆議院選挙後の世情の安定次第だが、円安を是正し、トータルで税金が下がり、景気対策をしっかりと行えば、上向きになる。そうでなければ、今年は1年を通して非常に難しい経営を強いられると予想している。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	・ホテル、外食業界は、春先は忙しくなる。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行の影響は特にない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（支配人）	・宿泊、料飲部門共に2月以降の予約状況から判断して、余り変わらない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・例年と比べ2～3か月先の仕事の動きが悪いものの、現状と景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・業績には大きく反映しないと予測している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・変わらないと回答したが、衆議院選挙を終えた新政権成立後の政策次第である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・現状以上に変化はないとみている。今後は米価の低下などが生じれば、更なる景気回復が見込める。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ練習場（経営者）	・今後も各種値上げが続き、消費は冷え込んでいく。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（従業員）	・春先に向けて早期予約は反応が良いものの、予約日の前月や当月を迎えたときにどの程度まで伸びているかは懸念もある。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・受注件数は、住宅の場合は新年度の国や自治体の補助金によるところが大きい。法人は業績次第で変化はあるが、今のところ例年と余り変わらないとみている。
▲	スーパー（商品部担当）	・良くなることは想像できない。現状維持できれば御の字ではないかと考える。3月の最低賃金引上げも控え、かなり厳しい状況になる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・商材の値上げは一時的な影響にとどまらず、家計全体の節約志向を強める要因となっている。値上げ実施から3か月が経過しても、購買行動に大きな変化はみられない。
▲	コンビニ（店長）	・来客数の減少は大した数ではないものの、買上金額の減少が目立っている。物価上昇に迫る賃上げはとても無理な状況である。
▲	通信会社（社員）	・衆議院選挙後の経済対策を注視する。
▲	通信会社（局長）	・衆議院選挙が実施され、物価対策がどうなるか不明である。円安と長期金利の上昇もあり、今後も円高や物価対策が進まない限りは、消費は進んでいかない。
▲	テーマパーク（職員）	・物価高騰などの影響から、レジャー費は劣後のため、土産品は500～600円程度の安価な商材が主流になっている。この先良くなるとは考えにくい。
▲	美容室（経営者）	・複数の客から、パートで働きたくても労働時間が短くなって困っているとの話を聞いている。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・必要最低限の物しか買えないと、客との会話で聞いている。やはり、社会保険料等、控除されるものが多すぎて、使えるお金が減っていることが実感としてある。
×	タクシー運転手	・地方ではかなり景気が悪く、良くなる様子もない。

	×	通信会社（経営者）	・地方の景気はかなり悪い。当社は運良く今期は公共工事関連の仕事があるため、さほど悪くはないが、それ以外の売上はかなり落ち込んでいる。やはり、円安の影響が大きい。現在は多少円高になっているが、為替の影響は今後も続く。この先、国内金利が上昇し、賃金及び仕入コストが上昇するなかで、中小企業は持ちこたえられない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・金利上昇による影響が大きい。
	×	住宅販売会社（経営者）	・ほとんど動きがなく、問合せ等も少ない。周りの企業の動きも悪い。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・衆議院選挙の結果次第で、景気は変わってくる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・新規案件獲得に向け先行投資を行っていたが、ようやく仕事を獲得し始めている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・今後の景気が良くなってほしいという期待を込めて、やや良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・今よりも良くなってほしいという希望を込めてである。
	□	食料品製造業（経営者）	・景気が持ち直す要因が見当たらない。引き続き、低調に推移する。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・年度内は順調に続くものとみている。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この数か月、仕事量や受注量が増えたり減ったり、取引先も良くなったり悪くなったりと、全く先が読めない。2～3か月という長い期間は、どうなるか分からない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・依然として物価高の状況が続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・年度替わりを迎えるため、新生活用品、白物家電、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、テレビやインテリア雑貨、デスク、椅子、本棚等は前年並みの物量を確保する予定である。ドライバー不足も続いており、用車費の高騰と円安による燃料価格の上昇もあり、利益は薄くなりそうである。
	□	金融業（営業担当）	・年末年始が終わると、例年、受注量等は横ばい状態が続き、大きな変化はなくなる。
	□	経営コンサルタント	・インフレ進行のため実質賃金が低下し続け、消費は低迷するとみている。下請企業等、中小企業の業績見通しはまちまちで、業況は変わらない。
	□	司法書士	・人口が、近隣市町村だけでなく地域全体で少しずつ減っているため、良くなることはない。かといって、悪くなることもなく、このまま穏やかに変わらず進んでいく。
	□	社会保険労務士	・地方の中小企業には、同業他社並みの賃上げが厳しい事業者が徐々に出てきている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・例年、期末は下がる傾向にあるため、やや悪くなる。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・今のところ、主要取引先の生産は減産傾向で進んでいるものの、特段変わった動きはない。ただし、中国のレアアースや半導体の問題等、いまだ不安な要素はある。
	▲	建設業（総務担当）	・この先の公共の発注見通しをみても少なく、民間案件も動きが悪いため、悲観している。
	▲	不動産業（管理担当）	・取引先の理解が進み、価格転嫁は何とかできそうではあるが、賃上げによる人件費の影響が大きくなるため、利益維持は難しくなりそうである。
	×	—	—
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・突然の衆議院選挙に突入したところだが、消費税や電気料金等がある程度抑えられれば、今後は変わってくるかもしれない。消費拡大も一部は期待できるとみている。住宅、自動車関連、部品関係の製造等では、今一つ不透明さがあり、やや不安も残る状況である。
	□	人材派遣会社（社員）	・全国規模の大手企業では、おおむね賃上げに応じることができるが、地方の中小企業は賃上げが容易ではなく、採用の格差が続く見込みは変わらない。

	□	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年同月比の動向は、医療、福祉は増加傾向で推移している。建設、製造、卸小売業については増減を繰り返している。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	・各企業で賃上げし、企業努力を継続しているが、消費動向に大きな影響はなさそうである。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・企業間で派遣契約は締結できているものの、派遣応募者が減少傾向にあるため、やや悪くなる。
	×	＊	＊